

## 令和7年度 第1学期始業式&入学式

4月7日(月)の始業式、4月8日(火)の入学式をもって、岐宿中学校の令和7年度がスタートしました。

新入生18名、2年生24名、3年生14名、計56名での出発です!

### 【始業式】

新年度の決意の言葉を述べたのは、2年生の田端楓さん、3年生の脇平凌空さんでした。これまでの自分自身を振り返り、今年度の目標を堂々と発表していました。頼もしさと成長を感じ、大変嬉しい気持ちになりました。

### 【入学式】

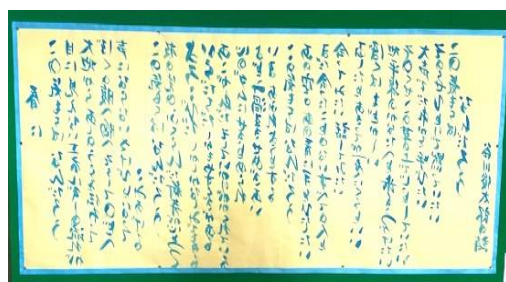
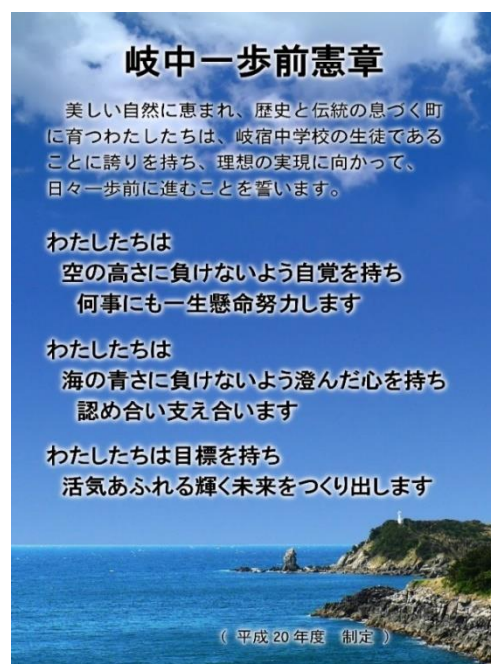
当日の天気は晴れていましたが、風が少し強く、中庭の大きな桜の木から花びらが散っています。ところが、この風のお陰で、地面に散った桜の花びらが舞い上がり、とても美しい光景が広がっていました。気持ちよく式に臨みました。

校長式辞の最初の言葉は「桜の花が舞っています!」。校訓の「理想開拓 ～創造・友愛・勤勉～」に触れ、岐宿中学校は自分の夢や目標に向かってたゆまず努力できるようになり、幸せになるためにある学校だということを伝えました。そして、「岐中一步前憲章」を読み上げ、一步前憲章を体現できる自分づくりを行ってほしいと私の願いを届けました。

在校生を代表して、生徒会副会長の岡本貴龍さんが「岐中一步前憲章」「空・海・未来(岐中テーマソング)」「たくさんの応援団(保護者・先生・地域のみなさん)」の3つが岐宿中学校の宝であることを伝えました。また、生徒会スローガン「躍動邁進～私達の一步は無限大～」を紹介し、一步踏み出す勇氣さえあれば、何だってできる、何にだってなれると新入生にエールを送っていました。

新入生を代表して、出口千翔さんが部活動、学校行事、学習を頑張る、「努力を怠らず、何事にも全力で取り組み、日々一步前に進みたい」と力強く誓いの言葉を述べました。

素晴らしい入学式になりました。



左の写真は谷川俊太郎さんの「春に」という詩を養護教諭の橋本先生が絵の具の筆で書いたものです。玄関に掲示しています。新しい出発に希望を抱いているけれども戸惑いがある。そんな子どもたちの心をときほぐすのにふさわしい詩です(裏面に掲載しています)。

今年度も岐宿中学校をどうぞよろしくお願いします!

## 春に

谷川 俊太郎

この気もちは何だろう  
目に見えないエネルギーの流れが  
大地からあしのうらを伝わって  
ぼくの腹へ胸へそうしてのどへ  
声にならないさけびとなってこみあげる  
この気もちは何だろう  
枝の先のふくらんだ新芽が心をつつく  
よろこびだ しかしかなしみでもある  
いらだちだ しかもやすらぎがある  
あこがれた そしていかりがかくれている  
心のダムにせきとめられ  
よどみ渦まきせめぎあい  
いまあふれようとする  
この気もちは何だろう  
あの空のあの青に手をひたしたい  
まだ会ったことのないすべての人と  
会ってみたい話してみたい  
あしたとあさってが一度にくるといい  
ぼくはもどかしい  
地平線のかなたへと歩きつづけたい  
そのくせこの草の上でじっとしていたい  
大声でだれかを呼びたい  
そのくせひとりで黙っていたい  
この気もちはなんだろう